

研究課題名「CTAにおける希釈造影剤の二段階注入法の有用性について」に関する情報公開

1. 研究の対象

本研究は、2010年4月1日～2021年6月30日までに名古屋大学医学部附属病院の血管撮影検査に於いて、IVR-CT造影CT検査を受けら18歳以上の患者100人を無作為抽出して対象とします。

2. 研究目的・方法・研究期間

【目的】動脈塞栓術時にカテーテルを用いて経動脈CT(CTA)を撮影することがあります。従来は造影剤を手動的に3倍希釈してCTAを行っていました。2019年12月の装置更新に伴い、当院でも造影剤を希釈して注入できる自動注入器の使用が可能となりましたので、以降は造影剤の希釈倍率を途中で変化させる濃度2段階注入法を使用しています。濃度2段階注入法により得られたCT画像によって、動脈塞栓術時に作成される3D画像の画質は向上しましたが、装置更新以前の画質と比較する必要があります。また、現在使用している装置付属のワークステーションには、腫瘍栄養血管解析ツールが実装されています。このツールの解析精度についても検討する必要があります。

【方法】濃度2段階注入法により得られたCT画像と、2019年12月装置更新以前のCT画像の画質を比較します。また、装置付属のワークステーションに実装されている腫瘍栄養血管解析ツールの解析精度について検討します。

【研究期間】実施承認日より2025年3月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究は、2010年4月1日～2021年6月30日までに名古屋大学医学部附属病院の血管撮影検査に於いてIVR-CT造影CT検査を受けられた18歳以上の患者100人を無作為抽出して対象とします。本研究の試料として、当院電子カルテから、患者身体データ抽出、またCT画像を抽出します。抽出する身体データは、性別、年齢、身長、体重、血清クレアチニン値、eGFR値、既往歴とします。

なお、使用するデータは、匿名化を行い、個人情報の保護に努めます。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 電話：052-741-2111(内線 4072)

名古屋大学医学部附属病院放射線部 植村武司

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院放射線部 阿部真治